

研修報告書 No 9

金野由佳研修医

研修施設：佐川町立高北国保病院

四万十市国保西土佐診療所

平成 23 年 12 月 5 日～12 月 27 日の約 1 ヶ月間、高知県佐川町立高北国保病院及び四万十市国保西土佐診療所にて研修させていただきました。

高知県は自然が豊かでしたが、そのぶん家が平地ではなく坂の上にあることが多く、また佐川町の高齢化率が 38.1%と全国平均より高いこともあり高齢者の受診がほとんどで、交通手段が少ないことから家族がいないと通院が難しいという印象を受けました。それに対して病院側は往診や出張診療所という形で対応していましたが、頻繁に行えるものではないため、慢性期疾患以外の対応が難しいと思いました。急性期に関しては救急車が対応することが多いとのことでした。また、往診は場所によっては車で片道 30 分以上かかる事もあり、1 日で往診可能な人数は安易に増やせないという印象がありました。その点では医療機関や交通手段が多い地域とは違い、地域医療の難しさを感じました。個人的には、出張診療所という形の医療を知らなかった為、内服薬や点滴・カルテを持参し診療所を開くという形が非常に興味深かったです。尾川診療所は以前使用していた診療所を使用しており、昔の診療所の雰囲気を感じることができました。

研修内容については、高北病院では大学病院ではなかなか見ることが出来ない調理室や検査室、リハビリ室等の研修もさせて頂きました。検査室では腹部超音波の練習が出来たことが非常に勉強になりました。リハビリはやはり高齢者が多いためか、転倒後の骨折や脳梗塞後遺症などリハを必要とする人が多い印象がありました。理学療法ではスロープで外に出られることや、作業療法では畳やお風呂・台所など実践に即した方法で行っていて、自宅に帰っても困らないように工夫が見られました。また、デイサービス・デイケア施設を見学できたことも大きな経験です。

西土佐診療所では、感冒や予防接種だけでなく外傷や眼内異物の処置などを経験でき、地域医療での幅広い知識・技術の必要性を学びました。

特に西土佐診療所も高北病院でも栄養に力を入れている印象があり、栄養士による NST 回診や褥瘡回診などが密に行われていることも勉強になりました。また、いずれの病院でも病院食を頂いたのですが、非常に美味しくいただきました。とろみ食やきざみ食も体験でき患者さんの食事を体験できました。

今回の臨床研修では、高北病院も西土佐診療所も地域の中核医療機関として患者さんの症状だけではなく、家族構成も考慮して入院及び退院を検討しており、地域に密着した医療を研修でき、非常に勉強になりました。また、出張診療所等では外来受診の患者さん同士も知り合いが多いためか、名前を呼ぶとみんなでその方を探して呼んで来て頂いたり、待合室でも和気藹々として待っている姿が印象的でした。

研修を始めるにあたりオリエンテーションで、高北病院のある高吾北地域では 2 万 7 9 1 3

人規模のエリアに7つの病院・19の診療所・8つの歯科診療所があると教えて頂き、人数に対して医療機関が多い印象がありました。しかし、実際研修を行いこの地域の出張診療所や往診、ケアマネージャー訪問など車で移動した際、地域の広さに驚いたことを覚えています。地域の医療を支えていく事は大変であるが、重要な事だと思いました。このような地域医療は大学病院ではなかなか体験できないため、大変勉強になりました。高北病院の皆さん、西土佐診療所の皆さん、デイサービス・デイケアの皆さんに本当にお世話になりました。ありがとうございました。